

同志社大学

2010年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2011年 3月 28日提出

所属	職名	氏名
人文科学研究所	准教授	林田 秀樹
研究題目	グローバル化と東南アジアのプランテーション —アブラヤシが変える経済・自然・共同体	
研究成果 の概要	<p>(1) 本研究費を用いて、2010年11月に東京大学駒場キャンパスで開催されたアブラヤシ研究会に出席し、2011年3月にインドネシア共和国西カリマンタン州に渡航して同州所在の国営農園企業によるアブラヤシ農園経営と雇用政策に関する諸事項について聞き取り調査を行った際の関連費用を賄った。また、同国ジャカルタ首都特別州にも同時期に渡航し、インドネシアの地方経済及び金融システム関連の書籍・資料等を収集するための費用にも、本研究費を用いた。</p> <p>(2) 具体的な研究成果としては、(1)の事項と関連して、以下の論文を発表し、口頭報告を行った。</p> <p>論文 林田秀樹「インドネシア銀行の一次協同組合向け与信政策の変遷—農園事業振興策との関連で—」『社会科学』第40巻第4号、105-133頁、2011年2月。</p> <p>口頭報告 Hayashida Hideki, 'Which Side Actors are More Responsible, Local or Global?—Fundamental Causes of Expansion of Oil Palm Plantations in Indonesia', presented at <i>JSPS Asian Core-Program Seminar: Local Politics and Social Cleavages in Transforming Asia</i>, Co-organized by JSPS, CSEAS and CAPAS, 18th Dec. 2010, Kyoto University.</p>	